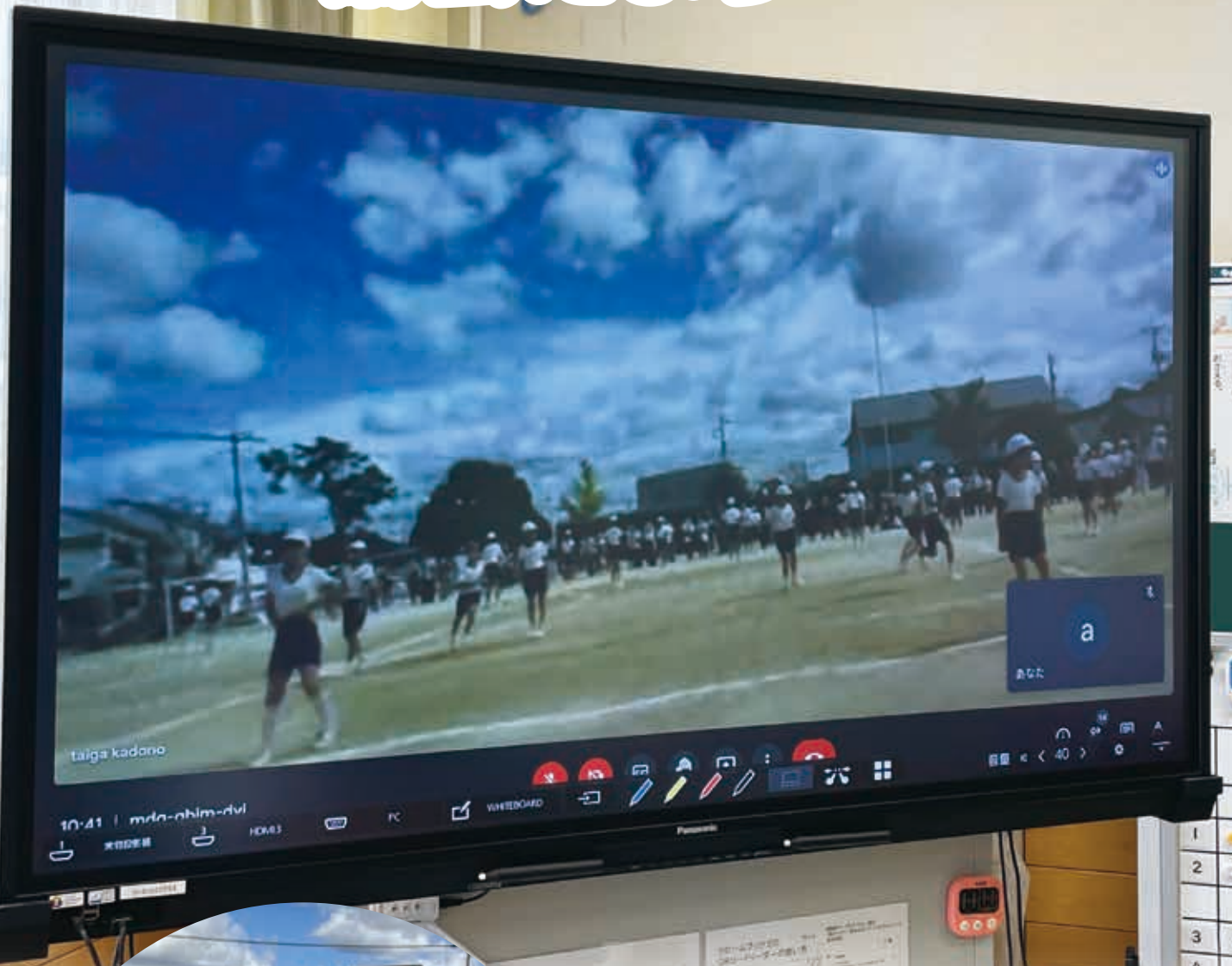


あさくち 議会だより

No.51

令和3年11月1日発行



令和3年 9月定例会

- ・ 9月定例会 ②
- ・ 主な議案 ③
- ・ 委員会レポート ④
- ・ 市政を問う！一般質問 ⑥
- ・ 臨時会 ⑪

あさのか	
1	じりつ
2	たいいく
	きゅうけ
3	がっかつ
4	こくご
	→+1
5	しょしゃ
6	
	かえりのか
	11月20日

臨時会

6月28日に開催した臨時会において、新型コロナウイルス感染症対策として1,348万円を増額する一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

主な内容

事業名	概要	補正額
生活困窮者自立支援金支給事業	新型コロナウイルス感染症による経済的な影響の長期化に伴い、緊急小口資金等の特例貸付の支援などを利用できない、生活困窮者の自立支援を図るため、支援金を支給する	1,348万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

9月定例会

9月定例会は、8月31日から9月16日までの17日間の会期で行われました。

あさくち復活応援券給付事業費 1億8,230万円を削除した修正案を可決!!

**一般会計補正予算(第5号)は3億5,542万円を増額補正
令和3年度一般会計予算の総額は149億3,137万円**

歳出の主なもの

区分	事業名	概要	補正額
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種を行う	7,761万円
商工費	事業者応援補助金	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、「新しい生活様式」等に対応する事業者を支援するため、補助金を交付する	3,300万円
	市出身学生応援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大等により、帰省を含め生活面で影響の出ている市外居住の市出身学生に対し、生活支援、郷土愛の醸成及び特産品の周知拡大等を図るため、市特産品を配付する	115万円
消防費	防災行政無線情報伝達システム整備事業	災害時の避難情報や災害発生情報を迅速に市民に提供するため、移動系防災行政無線網を同報利用するなど、伝達手段の多重化を図る	1億8,464万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、緊急防災・減災事業債 1億8,460万円などです。

主な議案

条例

○市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例制定 **【原案可決】**

候補者の選挙運動に係る経費負担を軽減し、立候補の機会均等を図るため、選挙運動用ビラの作成に関する費用を限度額の範囲内で公費負担するもの。

予算

○あさくち復活応援券給付事業を削除する修正案

提出者 横山達士議員、桑野和夫議員、石井由紀子議員

提案理由(要旨)

長引くコロナ禍で生活が苦しくても耐え忍んでいる人、本当に困っている人に目を向けることが大切。

一律に給付するのではなく、例えば住民税非課税世帯などに配分を増やすなど、行政によって所得格差を埋めることが大事。

賛成討論(要旨)

竹本幸久議員

提案理由のとおりであり、議員の立場が反映されている。

沖原有美議員

本当に困っている人のため、総額の予算の中で、配分を考えてほしい。

香取良勝議員

昨年と同じ事業をしている。また一律に給付するのは来年の選挙を見据えているのではないか。

反対討論(要旨)

藤井立子議員

市民は皆何かしらの影響を受けており、一律に支給することは必要な支援。この事業は地方経済に刺激を与える経済対策でもある。期を逃さず実施すべき。

藤澤 健議員

市民への支援だけでなく、落ち込んだ地域経済への支援にもつながるもの。速やかに予算を可決すべき。

発議

○新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の生活支援に関する決議 **【原案可決】**

提出者 竹本幸久議員

賛成者 佐藤正人議員、香取良勝議員、桑野和夫議員

提案理由(要旨)

自宅療養を余儀なくされている感染者が増え、容体が急変し、自宅で死亡するケースが相次いでいる。

家庭内感染を防ぎつつ、自宅療養者が安心して療養できるよう、県や保健所と連携しながら、市として早急な対策を講じることを求める。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

【○】賛成、【×】賛成でない、【-】不参加、【欠】欠席 ※議長は採決に加わりません。

議案名	議員名	井上邦男(議長)	香取良勝	大西恒天	青木光朗	藤澤 健	中西美治	桑野和夫	竹本幸久	佐藤正人	伊澤 誠	藤井立子	石井由紀子	横山達士	山下周吾	沖原有美		
発議第2号	新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の生活支援に関する決議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第3号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第4号	新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
発議第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げに係る意見書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第48号	議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第49号	個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第50号	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第51号	移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第52号	令和3年度一般会計補正予算(第5号)	修正案	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	修正可決
		修正部分を除く原案	○	○	○	-	×	○	○	×	○	×	○	○	×	○	○	
議案第53号	令和3年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願第10号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願		×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	不採択
請願第11号	新型コロナ禍による米の需要改善と米価下落の対策を求める請願		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願第12号	再犯防止推進計画に関する請願書		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情第13号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げをはかるための、2022年度政府予算に係る意見書採択の陳情について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

委員会レポート

総務文教常任委員会

○閉会中の調査（8月4日）

報告 GIGAスクール構想を活用した小中一貫教育について、浅口市では、小学校、中学校の創意工夫による特色ある教育を推進している。特に小中一貫教育の推進、ICT機器の有効活用、コミュニケーション・スクール活動の活性化を図り、豊かな心を育み、一人一人の個性や資質を伸ばし、自ら学ぶ意欲と生きる力のある児童・生徒となるよう、その育成に努めている。

一人1台の端末や電子黒板の整備、指導者用デジタル教科書の導入。校内の高速無線LAN環境の

○9月定例会で付託された議案の審査（9月9日）

一般会計補正予算（所管分）

説明 新型コロナウイルス感染症の長期化による市内事業者の売上げ減少、市民の家計への影響を鑑み、消費喚起、家計支援を目的に市内加盟店で使用できる応援券を一人当たり5000円分給付する予算を計上。

Q あさくち復活応援券給付事業について、一律5000円の券を出すことに疑問がある。本当に困っている人に手厚くするべきではないのか。

A 整備、GIGAスクールサポートによる端末活用の際の指導支援、端末の設定やトラブルへの対応などを行っている。臨時休業になった際の対応として、オンライン授業のテストも行った。

コロナの収束が見通せない中、児童・生徒の学びを止めないことを大切にしていく。

Q 識別障害など、一定の障害のある子への対応は、個別にきっちり対応していく必要がある。

A 今後実施する際には改めて検討する。

Q 行政広報番組委託料を笠岡放送に支払うことについて、視聴率の調査をして委託する判断基準にはどうか。

A 視聴率と効果については検証する機会を持ちたい。

審査結果 応援券給付事業は賛否が分かれ、起立採決の結果、委員会では否決された。

民生常任委員会

○閉会中の調査（8月3日）

報告 浅口市の新型コロナウイルスワクチン接種事業について、8月2日時点で2回目接種を完了した人は65歳以上81.0%、64歳以下5.3%。接種対象者全体では、35.7%で、国や県を上回っている。

次にワクチン供給量について、全国的に自治体へのワクチン供給量が減少していることを受け、県に対しワクチンの必要量の確実な配分と、明確な供給スケジュールを示すよう要望した。

また、海外渡航の際、隔離期間

○9月定例会で付託された議案の審査（9月10日）

一般会計補正予算（所管分）

説明 各種証明書発行時のキャッシュレス決済（スマートフォンによるQRコード決済）導入のための予算を計上。PayPay・LINE Pay を想定しており、利便性の向上・事務効率化・新型コロナウイルス感染症対策につながっていくと予想される。また、家庭児童相談員1名の増員に係る予算及び新型コロナウイルスワクチン接種事業への追加予算などを計上。

の短縮や免除などの緩和措置を受けるために必要なワクチンパスポートの交付申請受付を、7月26日から行っている。

Q ワクチン接種で副反応が出た例は。

A 現在、約1万6500人が接種を受けているが、大きな副反応が出た事例はない。

Q 学生の接種はどうか。

A 12歳から15歳は対象者の10.6%、16歳から18歳は17.0%が接種済み。

Q ワクチンパスポート手続き方法は。

A ワクチンパスポートは海外渡航予定者が対象で、パスポート等を窓口へ持参して申請し、申請後、1週間ほどで郵送される。

審査結果 歳入・歳出の説明を受け、委員会では一般会計補正予算（所管分）は可決すべきものと決定した。

～常任委員会、特別委員会の審査内容～

産業建設常任委員会

○閉会中の調査（8月5日）

報告 浅口商工会が会員に対して行った新型コロナウイルス感染症に関する企業活動への緊急実態調査結果について、「影響がある」との回答が約80%を占めており、特に飲食店・宿泊業、運輸業、卸売業については「非常に影響がある」が過半数を大きく超えている。飲食店等は緊急事態宣言による営業時短協力要請の影響を受けているものと考えられる。

給付金や補助金を求める回答もあり、この結果を基に支援策を早

急に取りまとめ、補正予算へ計上したい。

Q 中小企業への援助が必要というのは1年前からある話。企業立地奨励金を廃止して、その予算を中小企業の方へ回すような考えは。

A 奨励金に関しては、今後でもコロナ感染症が長引くようであれば、いろいろと考えていか

なければならぬ。

○9月定例会で付託された議案の審査（9月13日）

一般会計補正予算（所管分）

説明 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市内の事業者への支援として、アルコール消毒液などの衛生用品、空気清浄機などの換気機器、サーモカメラなどの非接触検温器などの購入費用に対し補助金を交付する費用を計上。その他、親元を離れ、市外に居住する浅口市出身の学生に対し市の特産品を届け、生活を支援するための事業費も計上。

建設関連では、鴨方の益坂から

金光の上竹へ通じる阿坂トンネルの照明をLED化するための関係予算を計上している。

審査結果 歳入・歳出の説明を受け、委員会では一般

会計補正予算（所管分）は可決すべきものと決定した。



LED照明へ

財政特別委員会

○事業に関する調査（7月28日）

①公共事業発生残土民間受入募集要綱について、浅口工業団地A地区で発生した残土公募により3事業者が合計で約1万5000m³受入れ、残土処分費を含め約2500万円以上の経費削減が図られたとの説明を受けた。委員からは、要綱だけで書類を作れば何でもできるのかなどの意見があった。

②金光病院に対する地域総合整備資金貸付は、民間金融機関等と共同して地域振興に資する民間事業活動等を支援するため、設備投資に係る無利子資金の貸付けを行う制度で、市が10億円を起債して金光病院に貸付けている。起債利子のうち市の実質の負担は約490万円である。また、介護老人保健施設の指定については、都道府県が行うもので、市には権限がないとのこと。

委員からは、資金の貸付に銀行の保証が必要な理由をふるさと財団に照会するよう求めた。

③一般社団法人mOkO.aに委

託した岡山天文博物館における来館者受付業務、売店の管理運営業務及び施設清掃業務について説明を受けた。委員からは、「住民監査請求に係る監査の結果、市が行ったこの随意契約は違法との見解が示されている。また一人の監査委員は全額返還するよう求めているのではないか。」などの意見があった。

このほか、共同墓地環境整備補助金及び大谷人づくり・まちづくり研修事業補助金について、本委員会では精査することに決定した。



天文博物館の売店

インターネット検索からも動画を視聴できます！

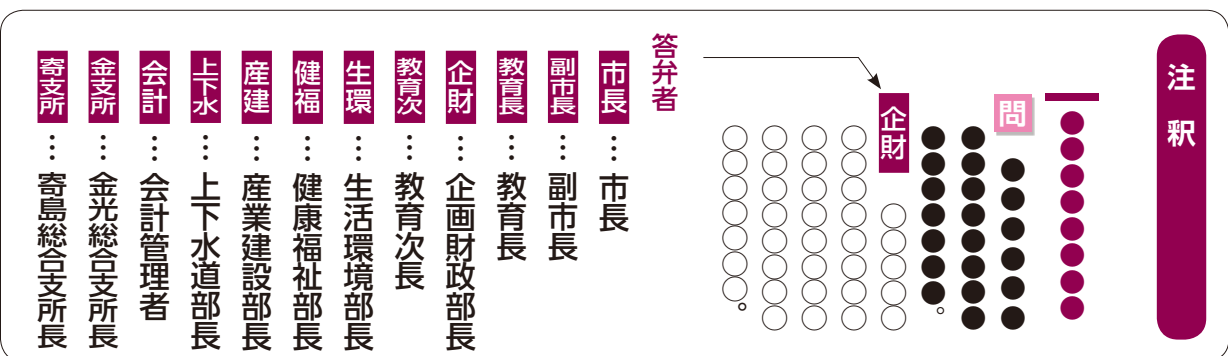
浅口市議会では多くの方に議会の様子をお伝えするため、録画映像をユーチューブで配信しています。再生方法は次のとおりです。

- ①インターネット検索サイトに「浅口市議会 ユーチューブ」と入力し、検索
- ②一番上に表示される「浅口市議会-YouTube」をクリック
- ③ご覧になりたい画像をクリック
(右端の > をクリックすると選択できる画像が増えます)



9月定例会では、9人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目	質問者	質問項目
香取 良勝	○税金の無駄について再度聞く	石井由紀子	○多様性社会を目指す取組みについて ○福祉センター浴場について
藤井 立子	○通学路の安全確保について ○ヤングケアラーについて	沖原 有美	○生理の貧困に対する支援について ○新型コロナウイルス感染症の自宅療養者の支援について ○校則について
藤澤 健	○防災対策について ○新型コロナウイルス感染症対策について	大西 恒夫	○笠岡市と浅口市の市長や議員の賞与の違いについて ○西南水道企業団への倉敷市からの緊急給水について ○下水道接続の受益者負担金の支払い猶予について
桑野 和夫	○新型コロナウイルス感染症対策について ○マイナンバーカードについて	伊澤 誠	○学童保育の現状について ○小学校・中学校の通学路について ○小中一貫教育移行開始について
山下 周吾	○デジタル技術を利用して改善される職員の働き方と市民サービス向上への取組みについて ○防災について（河川・高潮避難指示発令時）		



市政を問う！一般質問



香取 良勝



税金の無駄について

問 健康福祉センターレストラン使用料の免除について、月2万円の家賃を2か月間免除している。コロナで営業に支障が出たなら、国へ申請すれば補償金が出る。なぜ市が払わないといけないのか。

健福 国の補償金と今回の免除は別。新型コロナウイルス拡大防止のため、健康福祉センターを休館とし、市が営業休止を命じた事により免除した。条例は災害の場合に適用となっている。他の市が免除しているのか。みんな困っている時に、市民の税金を市長の金みたいに使っている。忖度しているのではないのか。返金命令としては。

健福 健康福祉センター条例第9条には、『非常災害、その使用者の責めに帰することができない理由』とある。事

業主の責任ではないことが該当するので、この度使用料の免除をしている。

問 大谷まちづくり協議会への補助金について返還命令が出ているにもかかわらず、予算が倍増しているのはなぜか。

金支所 令和3年度予算額は昨年度に比べ65万円増額している。増額の要因は、昨年大谷地区で映画ロケが行われ、その映画公開によりロケ地の大谷地区を訪れる人を迎えるため、環境や景観を整備する事業を想定している。

問 映画の機材を大谷が買い取っている。喜んでいるのは大谷地区だけ。困った人への金を回したほうがいいのでは。

市長 ウィズコロナということ、で経済もしっかり回すため、観光もPRし、浅口市を内外に情報発信していきたい。

問 岡山県で浅口市だけが監査事務局の部屋がないし人員も足りていない。専用の監査事務局を作ってはどうか。

市長 他市の状況、近年の業務量の増加等は承知している。市役所全体の体制見直しの中で検討する。



藤井 立子



通学路の安全確保について

問 千葉県で下校中に小学生が死亡する事故が起きた。金光吉備小学校区に分譲地ができただが、通学路が狭く危険。登下校時間帯の工事車両の通行規制を要望できないか。

市長 通学時間帯だけでも大型車が進入しないよう、私のほうから直接お願いしたい。

問 防犯灯の整備状況は。

企財 令和3年4月現在5014灯、うち2953灯がLED。明るく、低消費電力、長寿命のLEDへの順次転換と新設を進める予定。

問 登下校中の交通事故防止のため、通学路の総点検で危険箇所の把握をしては。

教育次 通学路等安全プログラムで報告があり、急ぐものから看板設置など実施している。

問 学校ごとに通学路マップをつくり、地域などと共有を。

教育次 地域安全マップづくり支援事業により作成を推進。

ヤングケアラーについて

大人が担うような家事や家族の介護を日常的に行っている18歳未満の子ども

問 国の調査ではクラスに1人か2人はいることが分っている。浅口市はどうか。

教育次 遅刻や宿題忘れなどの変化があれば声かけしている。実際に親の病気等で世話をしている子どもはおり、孤立しないよう見守っている。

問 この言葉は当事者にも大人にも知られていない。誰にも相談していない子どもが6割を超える。教師、福祉関係者の研修や連携はできているか。

教育次 県教委の研修プログラムで、各学校で取組んでいる。

健福 医師会、警察など多様な機関で構成される要保護児童対策地域協議会と学校とが連携している。

市長 悩みや困り事を抱える子どもや家族への支援を充実するため、家庭児童相談員を1人増員、今後は3名で対応、ヤングケアラーの周知を図る。



藤澤 健



防災対策について

問 新川、中川と最終地点の八重のポンプ場では、八重地区の有志によって里見川へポンプアップされており、私は大変ありがたいことと感謝している。新川、中川について今までのような対策をしてきたか。

金支所 新川では使用されない制限樋を撤去し、排水機場の運転を早期に開始した。中川では樋門の開閉を電動化に改良し、スムーズな排水が行えるように整備した。

問 小田地区はどのような対策をしてきたのか。

金支所 里見川の水位の上昇により内水処理ができなくなるので事前に仮設ポンプを設置し、排水が行える状態にしている。

市長 この度、県から排水能力の高いポンプが貸与されることとなり、沼地区へ設置する

ことを検討している。これによって下流の小田地区の内水処理も改善できると考えている。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 長引く自粛要請により地域経済の落ち込みが続き、市民の家計も打撃を受けている。地域経済や市民の家計に対する支援をどのように取組むのか。

産建 事業者応援補助金事業は、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、市内の事業者に対し衛生用品や飛沫防止用品などの購入に対して補助を行うもの。また市出身学生応援事業は市外に居住する浅口市出身の学生に対し、市内の特産品を届けるもの。

市長 地域経済の回復と市民の暮らしを守るための支援策として、昨年度に引き続き感染症予防対策に取組む事業者に対し、事業者応援補助金の交付や市出身学生応援事業の実施などを予定している。



桑野 和夫



新型コロナウイルス感染症対策について

問 市内の感染状況について。市内感染者と自宅療養者の現状は。

健福 合計100名の陽性者を確認している。うち重症1名、中等症2名、軽症83名、無症状14名となっている。死亡者の連絡は入っていない。9月6日時点で自宅療養者は軽症者9名で、自宅療養期間は約10日間が目安。

問 子どもの感染について、市の実態と感染防止対策は。

健福 10代以下は14名確認。内校長会とも協議し対応していく。健康管理・学校生活場面・給食などで、さまざまな感染対策をとっている。臨時休校や学級閉鎖等の対応も想定。オンラインの学習についても環境整備を含め準備を始

めているが、国・県からの明確な方針や指示に沿って対応していく。

問 ワクチン接種率と今後についてはどうか。

健福 2回接種の方が高齢者では88%、全体で60%となっている。10月以降のワクチン供給量の不透明さを受け、集団接種は難しく、個別接種を中心に考えている。

市長 ウイルスとの戦いは続くと考えている。直近の問題として、妊婦などの優先接種を実施していくために医療機関と調整中。

国、県また医師会等と連携を持って取組んでいく。

マイナンバーカードについて

問 カード取得率は。取得を押しつけないように求める。

生環 令和3年8月で33.7%。市民からの取得に関する問い合わせの際には、制度の趣旨や受けることのできるサービスを説明して、取得の判断をしてもらっている。今後も取得の押し付けにならないよう注意し普及促進に努めていく。

市政を問う！一般質問



山下 周吾



デジタル技術を利用して改善される職員の働き方と市民サービス向上への取組みについて

問 シニア向けスマートフォン講座が開催されたが、内容と今後の開催予定は。

教育次 中央公民館でのスタート教室とレベルアップ教室、寄島サンパレアで行ったレベルアップ教室など計5回で92人が参加。各講座とも関心が高く、今後も応募の状況を見ながら開催を計画したい。

問 高齢者がスマートフォンなどの機器に触れる機会が増えるように、貸出用のホームルーターやスマートフォンを用意し、地域内でスマホ勉強会などを始めては。

企財 総務省で事業構想が公表されているが、具体的な通知が来れば検討したい。

市長 一丁活用力の格差問題は行政が早急に取組むべき課題

と認識している。今後の国の動向も注視しながら公民館講座等も通じて支援に取組みたい。

防災について

問 避難指示発令時、市内在住の外国人や土地勘がなく町内会に入られてない方への対応は。

企財 外国人への情報配信は市のホームページで4言語、登録制のメール配信で11言語、国の災害情報アプリでは14言語などで対応している。また、市内全戸配布の防災ハザードマップを町内会未加入者や転入者の方にも配布している。

問 避難指示等発令時、早めの自主避難を促すために海・河川の水位確認のライブカメラを増設しては。

市長 現状を把握することも大切と考えるが、近年の災害では突発的な集中豪雨など局地的な事態の急変が顕著に見受けられる。気象庁の情報や市の発令による早めの避難行動をお願いしている。



石井由紀子



多様性社会を目指す取組みについて

問 人権と多様性の尊重への市の取組みは。

生環 人権週間（12月4日～10日）中の懸垂幕の設置、人権擁護委員による人権相談の会場提供、小学6年生と中学2年生対象の人権標語の募集を通じた啓発事業を実施。

また、今年度は11月14日に笑福亭鶴笑さんによる「人を傷つけない本当の笑い」と題した人権講演会を浅口市中央公民館において計画している。

教育次 人権に関する知的理解の進化と人権感覚の育成、自立支援、人権を尊重する環境づくりの3つの視点に基づいて人権教育を推進。さまざまな場面で具体的な実践行動に表れるような取組みや、人権に配慮した指導等を計画的に行っている。

市長 多種多様な差別や人権問題が実在している。人権意識を高め偏見を排除することが大切である。正しい情報提供と理解促進のための啓発を通じ、誰もが個性と能力を十分に発揮し活躍できる地域社会を目指したい。

問 LGBT（性的マイノリティ）についての現状把握は。

生環・教育次 具体的な把握はしていない。

問 日本でも約8%の該当者がいると言われている。相談窓口とまでいなくても、気軽に集まれ情報を得られる場所をつくっては。

生環 LGBTについてはデリケートな面を含んでおり、どこまで現状把握できるか懸念がある。まずは正しい理解や意識改革のために、ホームページや広報紙で啓発活動を充実させることから始めたい。

市長 性の多様性を尊重する社会実現のためには、違いを個性と考え、互いに認め合う必要があると思っている。



沖原 有美



生理の貧困に対する支援について

問 支援事業について生理用品の持ち帰りと寄付の状況は。

健福 社会福祉協議会と共同で行っている無料配布は、14件の利用、寄付は2件。

問 社会福祉協議会では生活相談も受け付けている。市との連携はどうしているか。

健福 この事業は、さまざまな相談支援にもつながる。社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会等を通じ、制度や困りごとの相談窓口を周知し、市民の支援につながるようさらに連携を強化していく。

市長 今年4月から生活困窮者自立相談支援員1名を配置し体制の充実を図った。

新型コロナウイルス感染症の自宅療養者支援について

問 家族や自分が感染した場合

の支援策は。

健福 同居する高齢者への対応、子どもへのケアの相談、浅口医師会に取り次ぎ医療面の解決を図っていくなど、不安な気持ちに寄り添った支援をしていく。

校則について

問 文部科学省が校則の見直し等に関する取組事例の通知を出した。内容や必要性について児童・生徒、保護者間に共通理解を持ち、学校や地域の実態に応じて取組むよう書かれている。浅口もさまざまな声を反映し校則見直しに取組んでほしい。

教員 校則については絶えず積極的に見直さなければならぬものかと捉えている。実施する際は児童・生徒や保護者が参加する事も検討し、学校運営協議会を中心に協議、適切な対応をしていく。

市長 安心・安全な学校生活を送るうえで校則は必要だが、人権を傷つけ、自主性を損なってはならない。今後は地域の実情や時代にあった校則をつくるよう対応していく。



大西 恒夫



下水道接続の受益者負担金について

問 公共下水道受益者負担金について、実際に負担金の支払いを猶予した例はあるか。

上水 受益を受ける土地が田んぼや畑などの農地や山林で、利用状況が宅地でなければ徴収を猶予することができる。登記地目が農地や山林でも利用状況が宅地であれば猶予できない。逆に、登記地目が宅地や雑種地でも利用状況が農地であれば徴収を猶予している。

例えば、販売目的で植木を植えている場合は猶予することができ、観賞用に庭木を植えている場合は猶予できない。

農地及び雑種地で、現況が課税地目の筆数は839筆。受益者負担金の猶予件数は、令和元年度では受益地222

件に対して76件、令和2年度は144件に対して18件となっている。

問 申請すれば除外できるのか。基準をきちっと示すべきでは。

上下水 公共下水道受益者負担金及び分担金に関する条例施行規則の中で、負担金の徴収猶予は申請が必要であることや、どのような土地が猶予できるかなどを定めている。しかし土地の利用状況はそれぞれ違っており、個々に相談し、現状を把握して猶予できるかどうか判断したい。

倉敷からの緊急給水について

問 以前、西南水道企業団に金光町域を組入れ、給水量が不足した場合に倉敷市から緊急に水を供給してもらったかどうかと質問したが、その後の検討は。

上下水 検討はしていない。金光地区の受水先については、現状のまま倉敷市から行うという方針に変わりはない。金光地区が西南水道企業団に入ることとは想定されず、倉敷市からの緊急給水の検討はできない。

市政を問う！一般質問



伊澤 誠



学童保育の現状について

問 入所希望が年々増え、施設が手狭で4年生以上の受入れを断っている学童もある。施設確保の対策は。

教育次 利用ニーズの動向や推移を見極めながら安全・安心に利用ができるよう、来年度から対応できる教室での受入れ拡充に向けて検討している。

市長 学校施設の確保が困難な状況であれば、専用施設の建築を早急に検討する。

問 受入れ体制では、支援員不足も問題視されているが、支援員確保の対策は。

教育次 人材確保対策として賃金の補助単価の見直しや通勤手当加算など、クラブからの要望を反映した処遇改善に取組んでいる。求人募集は、市のホームページで求人情報の掲載、広報紙へのチラシ折り込みなど今後も児童クラブと連

携、協力して取り組んでいく。

小中一貫教育移行開始について

問 昨年12月の答弁で、新型コロナウイルスの影響で、保護者への周知や研修会が行われておらず、令和4年度から本格実施することのだが、その後の状況は。

教養 今年度4月から移行ということで進めている。小中一貫の教育課程づくりは今年度、国語・算数・数学・社会を作成し、来年度残りの教科を作成することとし、令和5年から本格実施としている。

問 小一ギャップ対応の「園小接続カリキュラムあさくち」は機能しているのか。

教養 私立園も含め、市内すべての園・小で取組みを行い、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を園と小学校が共有し、どの園から入学しても安心して小学校生活がスタートできるように取組んでいる。引き続き連携を図りながら、小学校での生活や学習の基盤づくりを支援していく。

9月定例会において補正予算を修正したことを受け、9月30日に臨時会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策として2億686万円を増額する一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

臨時会

令和3年度一般会計予算の総額は151億3,823万円

内容

事業名	概要	補正額
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業	<p>新型コロナウイルス感染症の生活支援対策及び緊急経済対策として、市民生活と地域経済を支援するため、全市民への応援券の給付及び低所得の子育て世帯への上乗せ給付を行うほか、感染症対策として衛生備品の購入を行う。</p> <p>(○コロナに負けるな！あさくち復活応援券給付事業) (○学校等給食費支援事業) (○感染症対策衛生備品整備事業)</p>	2億686万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

歳入の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,905万円などです。

YouTube 9月定例会録画配信

本会議の録画映像を「YouTube」で配信します。
 お好きな時にスマートフォンやタブレット等で視聴できます。

内容	QRコード
開会 会期の決定 委員長報告・質疑 議案上程・提案説明	
一般質問	
議案に対する質疑	
委員長報告・質疑 議案の討論・採決 閉会	

QRコードから一般質問動画を視聴

スマートフォンやタブレット等でQRコードを読み込んでください。



声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、**浅口はるか**会のご協力により議会だよりを音訳しています。

必要な方は社会福祉協議会へ
 ☎0865・44・7744

傍聴へお越しください

傍聴は、議会に触れることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽にお越しください。

なお、次回の12月定例会は、11月30日9時30分から開会予定です。

会議中、傍聴者はご自由に出入りできますので、まず受付を済ませてお入りください。

会議の日程は、11月中旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



浅口市議会

検索

(本庁舎3階)

表紙写真

表紙の写真は、六条院小学校での運動会を教室の電子黒板にライブ中継している様子です。

運動会は新型コロナウィルス対策のため、学年ごとに時間帯を分けての開催となりました。

GIGAスクール構想により設置された電子黒板と校内WiFi環境を活用し、運動場になくとも他の学年の競技を見学できるよう工夫されています。

運動場にはない生徒は各教室で中継を視聴していました。



広報特別委員会

委員長 伊澤 誠
 副委員長 佐藤 正人

委員 沖原 有美 山下 周吾
 石井由紀子 藤井 立子
 中西 美治

